



# 1液ファインパーフェクトシーラー

透明  
ホワイト

2液のファインパーフェクトシーラーの良さはそのままに使いやすさがUPしました。現場の利便性を追求した弱溶剤1液形のエポキシシーラーです。

## ■ 特長

### ① ダレにくい

従来品と比較して（当社比）、ダレにくいいため、マスキングテープ等で実施した養生箇所への入り込みを軽減します。

※下地、旧塗膜の状態によっては、作業性、仕上がりに影響が生じる場合があります。

### ② 1液弱溶剤ならではの使いやすさ！

1液のため硬化剤を入れる手間や残ネタのロスが少なく、弱溶剤のため低臭気で、リフティングの心配がないため、下地を選ばずに塗装可能です。

### ③ 多用途

#### ● 浸透+高付着

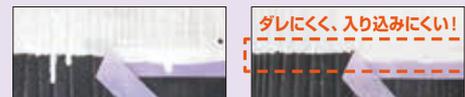
無機、有機ハイブリッド技術により開発された特殊エポキシ樹脂の効果により、従来のモルタル、コンクリート、木部、スレート屋根に加え、サイディングボードや鉄部等あらゆる素材に幅広く対応します。

※下記適用下地以外のものは対応できない場合があります。

#### ● 高意匠サイディングボード対応

これまで無機や親水表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。1液ファインパーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。

## ローラー塗後のダレ性比較



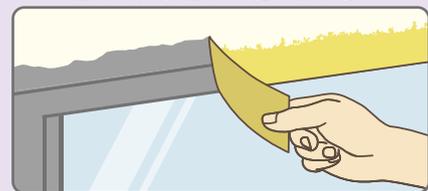
従来品シーラー（当社品）

1液ファインパーフェクトシーラー

### ダレ性比較試験

マスキングテープを貼った試験板に各塗料を標準の使用量（150g/m<sup>2</sup>）で塗装を行い、その10秒後にマスキングテープをはがしてダレ性を比較した。

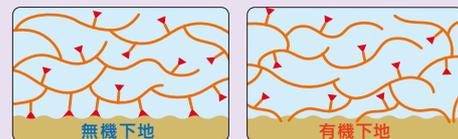
こんな困りごとを解決します！



（※上記はイメージです。）

## 無機・有機、両下地対応のメカニズム！

1液ファインパーフェクトシーラー  
塗料成分拡大図



無機下地には無機成分が、有機下地には有機成分がそれぞれ付着することで、幅広い下地に対応できます。

（※上記はイメージです。）

## ■ 適用下地と使用量目安

使用量目安： 0.05~0.12kg/m<sup>2</sup>/回 0.15~0.3kg/m<sup>2</sup>/回

| 無機系素材     |           |       |                |      |     |           |     |             | 金属系素材 |    |         |        |              | 有機系素材         |          |       |      |    |
|-----------|-----------|-------|----------------|------|-----|-----------|-----|-------------|-------|----|---------|--------|--------------|---------------|----------|-------|------|----|
| 押出成形セメント板 | サイディングボード | 磁器タイル | モルタル<br>コンクリート | ブロック | PC板 | けい酸カルシウム板 | ALC | 住宅用化粧スレート屋根 | GRC   | 鉄部 | 電気亜鉛メッキ | カラートタン | アルミニウムA1050P | ステンレス(SUS304) | ガルバリウム鋼板 | FRP樹脂 | 硬質塩ビ | 木部 |
|           |           |       |                |      |     |           |     |             |       | ※1 | ※1      | ※1     | ※1           | ※1            | ※1       | ※2    | ※2   | ※3 |

★各種旧塗膜にもご利用いただけます。

★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

注) 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイルなどの特殊なタイルには付着しにくいので、試験塗装にて付着性を確認してください。れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、別途ご相談ください。

※1 金属系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。さびが発生している場合や腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。

※2 有機系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。

※3 木部はホワイトシーラーのみの適用となります。

## ■ 適用上塗り

水性上塗り・弱溶剤上塗り塗料全般（パーフェクトトップ、ファインパーフェクトトップ他）

注) 下記商品はひび割れなど、上塗り塗装後の不具合が懸念されますので、適用は避けてください。

Hiビニレックスエコシリーズ、エコフラットシリーズ、ケンエースシリーズ、アブラウドジェラスターII

# ニッペ 1液ファインパーフェクトシーラー™

## 塗装基準

- ◆ 希 釈 率：無希釈(少しでも希釈すると性能が低下します)
- ◆ 使 用 量：前ページの各素材での使用量目安をご確認ください。
- ◆ 塗装方法：はけ・ワールローラー・エアレスプレー塗り
- ◆ 乾燥時間

|          | 5℃～10℃    | 23℃       | 30℃       |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 指乾乾燥時間   | 45分       | 30分       | 5分        |
| 塗り重ね乾燥時間 | 4時間以上7日以内 | 4時間以上7日以内 | 3時間以上7日以内 |

- ★上記の数値はすべて標準の数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件・使用量・施工条件および測定方法により幅を生じ増減します。
- ★乾燥時間は目安です。使用量・通風・温度および素地の状態によって異なります。
- ★エポキシ樹脂を配合していますので、長時間直射日光に当てないでください。また、上塗りにクリアー塗料の塗装は避けてください。
- ★高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

## ■施工上の注意(詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 1.被塗面の洗浄やエプロンセッスの除去に酸性洗浄剤/アルカリ洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装すると塗膜の縮み、白化、はく離を起すおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- 2.使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材の汚れがチェックし、はく離がある場合は再度シーラーを塗装してください。
- 3.吸い込みが少ない電気屋下地の場合には、乾燥不良による縮みや剥れが生じる可能性がありますので、各工程間の乾燥時間は十分長めにとってください。
- 4.鉄、アルミニウム、電気屋詰めなどを塗装する場合は入念に面荒しを行ってください。さびが発生している場合や、腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。
- 5.蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、業界サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リボン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 6.塗装場所の気温が25℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 7.さび防止などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
- 8.吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- 9.FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目直し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
- 10.経年したガイディングボード面の塗装は、剥離が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- 11.本品を塗装する場合は、上・中塗りの透けや塗り残しのないようご注意ください。また当たり傷などにも注意してください。上・中塗りに透けや塗り残した当たり傷などがあると素外壁により周辺塗膜が早期に劣化する恐れがあります。
- 12.塗装後、翌日にて降雨の心配がある場合は、白化するおそれがありますのでご注意ください。(塗装後3～5時間ぐらいは、絶対に雨に合わないようしてください)
- 13.シーラー類、フェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 14.下塗り乾燥後、ガムテープで基材の汚れがチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- 15.防さび(さび)性はありません。むね、すむむねなど金属製役物が、さびている場合は、発さび部とその周囲を十分にケレンし、下塗りに「ニッペ1液ハイパフォーマンス」塗料を塗付し、上塗りを塗付してください。
- 16.無石塗膜スート版に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。
- 17.大理石、金属風沢を有するラスタール、はく処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したふたふたタイル、施工はタイル・素焼き風タイルへのぬれが避けられません。その他、特殊なタイル面の施工については、試験施工により確認してください。
- 18.目地部がぬれ色になるまで下塗りを塗付してください。
- 19.目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗付してください。
- 20.目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切り、除去してください。
- 21.下地調整程度が悪い場合には、早期にさびを発生する可能性があります。
- 22.本品は規定の塗り重ね乾燥時間も早く上塗り塗料を塗付すると、縮み、剥れ、乾燥不良を起しますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みが多い下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、上塗りに塗る剥れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- 23.本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング(縮み)防止には使用できません。
- 24.上塗りにクリアー塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。
- 25.高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
- 26.劣化の著しい外部部材については、表面剥離の恐れがありますので、施工は避けて下さい。
- 27.吸い込みの少ない素材にはシーラーがタレやすくなるのでご注意ください。被塗物に汚れが多く残存すると付着低下のおそれがあるため、施工前

## ■容量・荷姿

|                     |                |
|---------------------|----------------|
| ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー | 14kg<br>荷姿/石油缶 |
|---------------------|----------------|

## ■塗料性状

|                             | 透明        | ホワイト      |
|-----------------------------|-----------|-----------|
| 色相                          | 淡緑色       | 白色        |
| 密度(g/cm <sup>3</sup> )(23℃) | 0.89      | 0.99      |
| 引火点(各29℃)                   | 40℃       | 29℃       |
| 発火点                         | 200℃(参考値) | 190℃(参考値) |
| 有機溶剤区分                      | 第3種       |           |

|       | 透明    | ホワイト           |
|-------|-------|----------------|
| 消防法表示 | 化学名   | 合成樹脂クリアー塗料     |
|       | 危険物区分 | 第4類第2石油類(非水溶性) |
|       | 危険等級  | Ⅲ(火気厳禁)        |
| 有害物表示 | —     |                |

- 18.十分に水洗してください。
- 28.塗料は内容物が均一になるようによくは混ぜてください。
- 29.溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 30.硬化に不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 31.水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 32.塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないよう十分にご注意ください。
- 33.旧塗膜に発生したさびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- 34.既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でバターン合わせを行ってください。
- 35.改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類を正確に調査し、塗装仕様をご確認ください。
- 36.シーリングの上には、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 37.タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- 38.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツト科学社製CH-H-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツト科学社製H1-500シリーズ:コングラテッドで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 39.素地の乾燥は十分に行ってください。
- 40.表面のこみ、ほこり、エプロンセッス、レイタンスなどは除去し、目直し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 41.ALCと面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整剤(ニッペ1材カチオンフェイラー、ニッペフェイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 42.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 43.塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 44.塗装時および塗料の取扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 45.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 46.シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起すことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシーラーを併用しないで行ってください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペアプライドプライマーを下塗りにすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起ることがあります。
- 47.空木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気促してください。
- 48.汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えてください。補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 49.クロコスの上塗塗料は避けてください。
- 50.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はききなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 51.可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビ/鋼板、塩ビ/ミネート、プラスチック、ゴム/ウレタン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗料が直接触れることがないようご注意ください。
- 52.平滑仕上げや難面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や増層工程が必要な場合があります。
- 53.上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
- 54.塗料の凍結の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 55.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## ■安全衛生上の注意事項

### ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー 透明/ホワイト

| 危険  | 横倒禁止  |
|---|---|
|       |    |
| 1.本来の用途以外に使用しないでください。<br>2.使用前に取扱説明書を手に入ってください。<br>3.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。<br>4.熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。禁煙です。<br>5.容器を密閉しておいてください。<br>6.容器を接地/アースをとってください。<br>7.防塵用の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。<br>8.火花を発生させない工具を使用してください。<br>9.静電気放電に対する予防措置を講じてください。<br>10.粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。<br>11.取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。<br>12.この製品を使用する時、飲食または喫煙をしないでください。<br>13.屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。<br>14.必要時以外は、環境への放出を避けてください。<br>15.保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。<br>16.ただちに医師に連絡したうえで応急措置を実施してください。<br>17.緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。<br>18.口をすすいでください。<br>19.容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。<br>20.漏出物を回収してください。<br>21.皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。<br>22.吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。<br>23.吸入了た場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しにくい姿勢で休息させてください。 | 24.眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後、目薬を流してください。<br>25.ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。<br>26.皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当を受けてください。<br>27.汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。<br>28.火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。<br>29.施設にて保管してください。<br>30.換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。<br>31.直射日光や水濡れは厳禁です。<br>32.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。<br>33.日光が遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送でも50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。<br>34.内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。<br>35.塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すこと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 |

■上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
●詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 日本ペイント株式会社

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 北海道支店 ☎ 011-370-3101 | 近畿支店 ☎ 06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎ 022-232-6712  | 中国支店 ☎ 082-281-2180 |
| 関東支店 ☎ 03-5479-3614  | 四国支店 ☎ 0877-56-2346 |
| 北関東支店 ☎ 03-5479-3614 | 九州支店 ☎ 092-751-9861 |
| 中部支店 ☎ 052-461-1960  |                     |

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2020 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-Y060

AA201010T  
2020年10月現在